

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ブルガリア大使館

記入日 平成26年12月9日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：2014年10月建設産業指数（国家統計局公表）

http://www.nsi.bg/sites/default/files/files/pressreleases/STR_SAWDA_2014-10_en_1_NGIEMW.pdf

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	<p>（タイトル）ブルガリア、マケドニア及びアルバニアの運輸大臣が欧州第8回廊建設のための協力に関する共同声明に署名</p> <p>（概要）</p> <p>10月31日、アンゲルコヴァ運輸・情報技術・通信大臣（当時）は、ブルガリア、マケドニア及びアルバニアとの間で欧州第8回廊の全ての道路の建設及び準備における協力に関する共同声明に署名したと発表した。3カ国の運輸大臣は毎年閣僚会合を開催し、各国内での決定事項につき互いに報告する。また、3カ国間の作業部会の設置に合意。</p>	2014年11月1日付 BTA Daily News
2	<p>（タイトル）対ブルガリアEU基金「環境」実施プログラムの支払を再開</p> <p>（概要）11月14日、欧州委員会は対ブルガリアEU基金「環境」実施プログラムの支払を再開。14日付の欧州委員会のプレスリリースによれば、欧州委員会はブルガリアに対し、2007-2013年期EU基金「環境」実施プログラムの支払を再開した旨を伝達した。ブルガリア当局に対しては、13日に欧州委員会側から書簡が送付された。これによ</p>	2014年11月15日 付当地各紙

	り、結束基金から1億6600万ユーロ、欧州地域開発基金から7400万ユーロが第一段階として支払われる予定。	
3	<p>(タイトル) 対ブルガリアEU基金「地域開発」実施プログラムの支払を再開</p> <p>(概要) 4日、ドンチェフEU基金・経済政策担当副首相は、EU基金「地域開発」実施プロジェクトの支払は、8日に監査団がブルガリアを来訪する予定であるものの、遅くとも1ヶ月以内に再開されるであろうと発言した。</p> <p>(2014年6月3日、欧州委員会地域・都市政策総局は、EU基金「地域開発」実施プロジェクトの管理機関に対し、2010年から2013年に行われた監査報告書に基づき、優先主軸1「持続可能及び統合された都市開発」及び優先主軸3「持続可能な観光開発」に対する資金供与を凍結していた。)</p>	2014年12月5日付 当地各紙
2	<p>(タイトル) EU基金「運輸」実施プロジェクト案が欧州委員会に提出される</p> <p>(概要)</p> <p>モスコフスキ運輸・情報技術・通信大臣は、2014-2020年期EU基金「運輸」実施プロジェクト案が12月4日に欧州委員会に提出されたと発表。同案には、シプカ・トンネルの建設計画(事業総額1億2000万ユーロ)も含まれる他、「ストウルマ」高速道路(ソフィアからギリシャ国境へと続く道路)の建設も優先プロジェクトとされている。また、ソフィア市内の地下鉄建設には4億ユーロが、道路プロジェクトに対しては6億7300万ユーロが予算計上された。</p>	2014年12月8日付 24Chasa
3	<p>(タイトル) 地域開発大臣は、貧困地域、水分野改革、道路インフラを優先事項とした</p> <p>(概要)</p> <p>12月8日、パヴロヴァ地域開発・公共事業大臣は記者会見において、貧困地域の開発・水分野の改革及び道路インフラを優先事項とすると発言した。</p> <p>なお、道路インフラはソフィア-ヴィディン間、ソフィア-カロティナ間、ヴェリコ・タルノヴォールセ間の道路開発を含む。</p>	2014年12月9日 BTA Daily News

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

● 11月7日、第2次ボリソフ内閣（GERB及び改革派グループを中心とする連立内閣）が発足。建設分野を所掌する運輸・情報技術・通信大臣及び地域開発・公共大臣には第1次ボリソフ内閣で同大臣を務めていたモスコフスキ氏及びパヴロヴァ氏がそれぞれ就任。水関連プロジェクト等を所掌する環境・水大臣には、第1次ボリソフ内閣で環境・水次官を務めていたヴァシレヴァ氏が就任。